

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業ビジョン

日本から、世界最先端のインフラシェアリングを。

売上高
300億円売上高成長率
51%EBITDA
180億円EBITDAマージン
60%

② 中長期の経営戦略

1. 事業基盤の強化

建設・営業・技術・保守等の体制拡充と携帯キャリアとの資本業務提携によりリーディングカンパニーのポジショニングを強化

3. 通信インフラの高度化

5G Sub6帯域対応共用設備開発と資本業務提携を通じた技術支援で将来のBeyond5G・6G対応を推進

2. 5G関連需要への対応

タワー事業参入と5G IBS事業展開、ローカル5G事業立ち上げでシナジーを創出

4. 海外市場の拡大

ベトナムを中心にオーガニック成長と資産買収・M&Aによるインオーガニック成長を並行実施

③ 対処すべき課題

① タワー事業の拡大

- ・カーブアウトを含めたタワー本数の拡大
- ・テナント誘致によるTenancy Ratio向上

② 国内IBS事業の成長

- ・5G対応共用装置の本格導入による導入物件数拡大
- ・既設市場（既存設備リプレース等）での対応

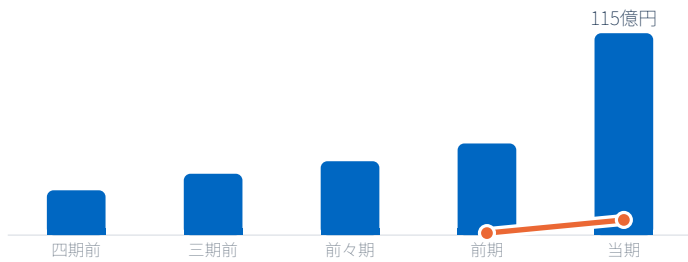
③ 共用設備の安定運用

- ・カーブアウト鉄塔の急速な拡大に対応した保全体制強化

面接で使えるポイント

- ・2027年3月期に売上高300億円・EBITDA180億円を目指す中で…
- ・パイオニアとして国内インフラシェアリング市場を創出してきた実績を、ベトナムなど海外展開にどう活かすのか
- ・タワー本数10,000本・Tenancy Ratio 1.8xという目標達成に向けて…

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

当社及び連結子会社 8 社で構成され、通信インフラシェアリング事業を行っております

主力事業・セグメント

・情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
115億円営業利益率
7.5%財務健康度
24点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 51.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
738万円平均年齢
37.5歳平均勤続
3.1年女性管理職
7.5%男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

